

視察・研修報告書

視察・研修先	大野城市 心のふるさと館
日 時	令和6年4月10日14時00分～16時30分
場 所	大野城市 心のふるさと館
テーマ	実践（体験型研修）!!どう創る?チーム議会
（講師）	神吉信之（かんきのぶゆき）氏 ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州代表
概 要	<p>4月10日14：00からローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州代表の神吉信之氏による講演が大野城心のふるさと館において、開催された。</p> <p>1) まず、議会・議員に対する認識として、5項目にわたり話が進められた。</p> <p>① 議員議会のイメージは？＝議会・議員が仕事をしているイメージがない。 ② 議員の顔は見えるが…議会の「顔」は見えない。</p> <p>2) 地方議会は機能しているのか？</p> <p>① 地方議会が地方政治の中で役割を果たしていないとの回答が約6割 ② 市民と議員との意識のギャップこそが問題</p> <p>3) どんな議会がいい議会なのか、チーム議会はなぜ必要？議会の存在意義は？～</p> <p>議会は、合議制ならでの役割</p> <p>① 複数の視点で討議を行い、答を導き出していく、民意を反映させて議論・結論を導いていく。そこに議会の存在意義がある。</p> <p>4) 先進的な議会となにがどう違う。</p> <p>① 兵庫県西脇市の場合一住民との意見交換会（年20回） ② 会津若松市議会・岐阜県可児市議会⇒市民意見交換会等を行い意見集約したものを執行部へ提言（小学生・高校生・ママさん議会）</p>

- ③ 愛知県新城市「若者会議」 8年間で 43 の政策を実施 例（高齢者におしゃべりチケットを配布、高齢者と若者が会話する機会を作る。防災を学ぶ「若者の会」 防災講習会やボランティア派遣、市内の写真を撮ったものをインスタグラムにあげ、また観光パンフレットを作った。
- ④ 開かれた議会を作るため公聴に力を注いだ（北海道鷹栖町議会⇒定例議会の案内チラシを電車の中吊り広告みたいに作った、愛知県犬山市議会は市民フリースピーチ制度を設け、参加者を募った、長崎県小値賀町議会は、模擬公聴会の開催
- ⑤ 滋賀県大津市議会⇒大学との連携、議員間討議の充実により政策立案能力を高めた。茨城県取手市議会⇒議会の DX 化・タブレットやモニターの導入、タブレット表決、オンライン視察研修、AI 音声認識～議会会議録視覚化システム導入、オンライン議会報告会（鳥栖市議会）

5) 住民基点の議会をどう作るか、

- ① そもそも有権者は議会に無関心。

今回の研修に参加して、議会をいかにして住民の皆さんに関心を持ってもらえるようにするか、いかに住民の多くの意見を取り入れることができるのか、その仕組み作りをいろんなところの町・市議会が取り組み挑戦していることがわかった。本市においてもどうしたら住民参加の議会が作れるのか議員一人一人が考え、意見を出し合い、より良い議会が出来上がっていくならば必然的に選挙への関心も高まり立候補者も増えて投票率も上がってくるものと思われる、その様な議会になるように努力していきたい。

-作成者 神田 徳良 -